

大学連携型 CCRC

～その本質と成功のポイント～

高齢者が健康なうちに入居し、終身で過ごすことが可能な生活共同体である CCRC(Continuing Care Retirement Community)は、日本でも近年、行政主導型、民間主導型などが全国で進展しつつあります。大学連携型 CCRC は、①リカレント教育②領域横断研究③地域貢献④卒業生への価値貢献⑤ブランディング⑥新たな収益事業という多面的な効果が期待されます。本セミナーでは、CCRC の有望性を見据え、国内・海外の好事例や近年の政策動向を交えて、大学連携型 CCRC の本質とその未来について講義し、聴講者の皆様と議論します。

2022 年 1 月 6 日(木)
13:30～15:00

知の館 3F 講義室より
Zoom にてライブ配信
(ハイブリッド形式で開催)

オンラインでお申込みいただいた方に URL を配信します

定員	オンライン：200 名 会場参加者：40 名(学内関係者のみ)
参加費	無料
申込締切	2022 年 1 月 5 日(水) 正午



講演者：松田 智生

(三菱総合研究所・経営イノベーション本部主席研究員)

慶應義塾大学法学部政治学科卒。専門は高齢社会の地域活性化、アクティブシニア論。高知大学客員教授。高齢者が健康時から介護時まで安心して暮らせる CCRC(Continuing Care Retirement Community)の有望性を 2010 年から提唱。

委員として、政府日本版 CCRC 構想有識者会議委員、内閣官房まち・ひと・しごと創生本部事務局「地方創生×全世代活躍まちづくり検討会」座長代理、内閣府高齢社会フォーラム企画委員、笠間版 CCRC 推進協議会アドバイザー、浜松市地方創生アドバイザー、老岐市政策顧問等を歴任。主な著書に「日本版 CCRC がわかる本」(法研)や「明るい逆参勤交代が日本を変える」(事業構想大学院大学)等。

下記 URL または QR コードからお申し込みください

主催：東北大学研究推進・支援機構 URA センター

共催：東北大学研究推進・支援機構知の創出センター、東北大学 文系 6 部局 URA

(文学、教育、法学、経済、国際文化、東北アジア)

お申込み
お問い合わせ先

お申し込みフォーム：<https://forms.gle/s8in1rYsvuHwqs3E7>

Email: tfc_ura_seminar@grp.tohoku.ac.jp

TEL: 022-217-6095

(東北大学研究推進・支援機構知の創出センター・古賀)

